

3 小学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
話・聞	：話す能力・聞く能力
書	：書く能力
読	：読む能力
言語	：言語についての知識・理解・技能

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)		
話すこと・聞くこと イ	1	一	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	話・聞	80.0	97.3	
		二	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	話・聞	70.0	80.0	
		三	(1)	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	話・聞	70.0	75.9
			(2)			70.0	94.6
言語事項 ア	一	(1)	学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。	言語	80.0	98.5	
		(2)			80.0	86.1	
		(3)			80.0	99.1	
		(4)			80.0	97.6	
	二	(1)	前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書く。	言語	75.0	84.8	
		(2)			75.0	93.0	
		(3)			75.0	88.3	
		(4)			75.0	82.8	
言語事項 ウ	2	(1)	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書く。	言語	75.0	70.3	
		(2)			65.0	55.9	
言語事項 エ (イ)	四	(1)	接続語の使い方を考え、文と文のつながりを考えながら書く。	言語	75.0	93.9	
		(2)			75.0	87.1	
言語事項 エ (ア)	五	(1)	表現したり、理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べる方法を理解する。	言語	75.0	88.6	
		(2)			75.0	86.6	
	六	(1)			70.0	81.3	
		(2)			70.0	78.2	
言語事項 エ (ア)	七	(1)	語句には性質や役割の上で類別があることを理解する。	言語	70.0	63.5	
		(2)			70.0	38.0	
読むこと (1) ウ	3	一	場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読む。	読	70.0	56.0	
		二	場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読む。	読	70.0	89.9	
		三	場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読む。	読	70.0	74.7	
読むこと (1) オ	4	一	目的に応じて、必要なところは細かい点に注意して文章を読む。	読	70.0	78.9	
		二	目的に応じて、必要なところは細かい点に注意して文章を読む。	読	65.0	66.6	
		三	目的に応じて、必要なところは細かい点に注意して文章を読む。	読	65.0	79.1	
読むこと (1) イ	四	四	目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読む。	読	65.0	34.1	
		五	目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読む。	読	60.0	71.1	
書くこと アイウエ	5	相手や目的に応じて、適切に書く。 書く必要のある事柄を収集したり選択したりする。 書こうとすることの中心を明確にして書く。	書	60.0	67.5		

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	話の内容を聞く。(話し手の感想)	80.0	96.8	96.9	94.9	96.9	97.1	97.2	96.5	
	二	話の内容を聞く。(理由)	70.0	80.4	80.3	81.9	82.1	83.4	77.5	83.2	
	三	(1)	話の内容を聞く。(話し手の考え)	70.0	72.6	72.9	68.4	79.6	78.3	82.9	79.2
		(2)	話の内容を聞く。(話し手の考え)	70.0	95.0	95.0	95.3	94.2	94.9	94.9	93.0
2	一	(1)	「手帳」の読み方	80.0	98.5	98.4	100.0	98.7	97.6	99.4	99.3
		(2)	「胃腸薬」の読み方	80.0	87.9	88.2	84.2	90.5	91.7	91.1	89.0
		(3)	「借(りる)」の読み方	80.0	99.0	99.0	98.6	99.2	99.2	100.0	98.8
		(4)	「風景」の読み方	80.0	97.0	97.1	95.3	97.6	97.6	98.1	97.3
	二	(1)	「たす(ける)」の書き方	75.0	84.6	84.9	81.4	78.2	78.8	74.7	79.5
		(2)	「しごと」の書き方	75.0	93.0	93.2	90.7	91.7	91.9	91.8	91.5
		(3)	「ひく(い)」の書き方	75.0	89.3	89.5	86.0	88.3	88.3	88.9	87.9
		(4)	「こうてい」の書き方	75.0	86.0	86.1	84.7	77.6	77.5	79.1	76.9
	三	(1)	ローマ字「mutuwan」の読み方	75.0	70.0	70.5	63.7	72.6	70.9	79.4	70.7
		(2)	「ひらめ」のローマ字での書き方	65.0	55.0	55.2	52.1	59.6	58.5	68.4	56.1
	四	(1)	適切な接続詞の使い方	75.0	91.6	91.5	92.6	97.1	98.5	97.2	95.7
		(2)	適切な接続詞の使い方	75.0	84.5	84.4	85.1	88.9	90.4	86.7	88.7
	五	(1)	国語辞典の使い方	75.0	87.0	87.3	83.3	90.5	91.9	93.7	87.5
		(2)	国語辞典の使い方	75.0	85.8	86.2	80.9	86.6	86.1	89.9	85.4
	六	(1)	漢和辞典の使い方	70.0	78.4	78.7	74.4	82.0	80.4	79.1	85.2
		(2)	漢和辞典の使い方	70.0	75.2	75.5	71.2	77.9	76.5	77.8	79.2
	七	(1)	主述の関係	70.0	61.6	61.9	58.6	69.4	73.3	68.7	66.1
		(2)	修飾と被修飾の関係	70.0	32.8	32.0	42.8	43.8	45.0	41.8	43.6
	3	一	細部の読み(ひどいあらしの様子)	70.0	58.2	58.7	51.2	60.3	53.8	72.8	60.2
		二	細部の読み(歌い続けた理由)	70.0	90.4	90.7	87.0	89.4	89.2	91.5	88.5
三		細部の読み(歌えなくなった理由)	70.0	74.6	75.3	64.7	76.3	78.2	77.5	73.9	
4	一	細部の読み(疑問文)	70.0	77.1	77.6	70.7	76.1	78.5	78.5	72.4	
	二	指示語の内容(そのために)	65.0	66.3	66.6	62.8	67.7	69.4	69.3	65.2	
	三	細部の読み(自転車のすぐれたこと)	65.0	79.6	80.1	73.0	79.8	80.9	81.6	77.9	
	四	段落相互の関係	65.0	33.7	34.2	27.9	32.4	29.4	32.9	35.1	
	五	細部の読み(自転車の問題点)	60.0	79.3	79.4	77.7	82.0	82.1	81.0	82.5	
5		目的に応じた表現(手紙)	60.0	64.3	64.2	64.7	71.8	74.1	71.2	69.9	
教 科 全 体			71.8	78.2	78.4	75.7	80.0	80.1	81.1	79.2	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内		県全体	
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
97.8	98.3	96.7	96.9	97.5	97.8	96.8	98.8	97.9	96.6	96.8	95.5	97.3	97.2	97.6	97.3
82.3	83.2	81.2	83.5	78.4	78.5	83.5	73.1	78.1	77.9	79.7	70.5	78.2	78.2	77.9	80.0
78.8	81.3	72.6	76.3	76.8	77.8	87.2	68.9	76.3	71.6	71.9	70.5	74.6	75.4	72.0	75.9
95.0	96.1	90.0	96.3	94.6	94.6	96.5	93.0	94.3	92.6	92.9	91.7	94.4	94.3	94.6	94.6
98.7	99.1	97.9	98.4	98.1	98.6	98.7	98.4	98.5	98.2	98.1	98.7	98.3	98.4	97.9	98.5
83.3	82.7	82.8	86.3	83.5	84.7	85.4	83.1	85.1	79.6	80.3	76.9	87.3	88.2	84.2	86.1
99.3	99.3	99.1	99.7	99.0	99.1	99.2	99.4	98.8	99.6	99.5	100.0	98.9	98.9	98.6	99.1
98.5	98.4	98.8	98.1	99.0	97.4	97.6	98.4	96.8	97.7	98.4	94.9	97.4	97.4	97.2	97.6
89.0	89.4	88.4	90.3	86.7	84.0	88.9	78.9	83.5	85.9	86.7	82.7	84.9	85.4	83.2	84.8
94.9	95.0	93.5	95.0	96.2	92.7	93.4	93.6	91.8	91.5	92.4	87.8	92.8	92.9	92.4	93.0
88.8	88.4	88.6	90.7	89.5	87.9	89.4	88.0	86.9	85.2	84.9	86.5	87.9	88.2	87.1	88.3
85.5	85.0	88.1	86.3	83.5	77.3	77.1	76.9	77.7	76.7	77.3	74.4	85.5	86.1	83.6	82.8
71.5	73.6	69.1	68.5	67.0	75.5	77.9	79.9	71.9	72.5	76.0	58.3	64.0	65.0	60.8	70.3
57.8	60.1	58.6	58.3	44.8	61.0	66.7	62.7	56.8	56.1	59.8	41.0	49.6	50.8	45.7	55.9
94.0	95.3	88.8	95.3	93.0	95.3	95.8	95.6	94.9	93.8	93.3	95.5	93.3	93.1	93.9	93.9
87.4	88.9	81.9	89.7	84.8	90.0	91.0	91.0	88.9	85.6	85.4	86.5	86.9	86.3	88.8	87.1
89.2	91.0	86.0	90.7	82.5	91.2	90.2	92.2	91.4	85.1	85.9	82.1	87.5	88.2	85.1	88.6
87.6	88.6	85.3	89.7	83.8	89.1	89.3	91.4	87.8	81.2	82.2	76.9	86.0	86.9	82.9	86.6
84.0	83.9	85.6	83.2	83.2	80.9	81.1	83.1	79.6	85.0	87.3	75.6	80.7	81.5	77.8	81.3
80.4	79.5	84.9	78.5	81.0	79.0	79.6	82.5	76.8	83.5	84.9	77.6	77.5	78.5	74.2	78.2
62.0	65.0	61.4	61.4	48.3	70.2	73.9	71.1	67.6	57.0	56.0	60.9	60.8	59.9	63.5	63.5
40.8	41.4	42.3	45.2	31.1	40.5	34.9	48.4	40.1	36.8	37.8	32.7	36.2	36.3	35.9	38.0
59.3	60.6	56.5	57.3	58.7	53.7	56.6	55.8	50.9	61.6	61.7	60.9	49.2	49.4	48.5	56.0
90.7	90.0	92.6	90.0	92.4	89.4	89.6	91.2	88.3	87.7	87.3	89.1	89.7	90.0	88.8	89.9
77.1	78.4	74.4	74.8	76.8	75.7	76.4	77.7	74.3	72.5	73.0	70.5	71.6	71.9	70.7	74.7
82.1	83.7	78.6	83.8	76.5	80.6	82.2	82.9	78.4	78.5	79.2	75.6	78.4	79.2	75.8	78.9
68.0	69.0	63.0	70.1	67.6	65.7	74.8	51.8	66.8	65.3	67.5	56.4	66.2	67.5	61.7	66.6
79.1	80.4	77.4	76.9	76.5	80.2	79.8	84.3	78.5	73.5	74.1	71.2	79.1	79.3	78.2	79.1
39.9	39.3	40.5	43.0	39.7	28.1	30.6	28.1	26.5	37.8	39.4	31.4	33.4	32.4	36.6	34.1
81.4	82.3	85.6	77.6	74.6	78.5	85.6	71.9	77.4	78.5	79.0	76.3	77.2	77.2	77.2	71.1
71.0	73.9	58.6	72.0	72.4	68.3	75.5	68.7	63.7	69.8	73.8	53.8	64.3	64.6	63.4	67.5
80.5	81.3	79.0	80.8	78.0	79.5	81.5	79.4	78.3	77.9	78.8	74.3	77.7	78.0	76.6	79.0

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	4	1一、1三(2)		86.9	72.5
書くこと	1		5	67.5	60.0
読むこと	8	3二	3一、3三、 4二、4四、 4五	69.8	66.9
言語事項	18	2一(1)、2一(3)、 2一(4)、2二(2)、 2二(3)、2四(1)、 2五(1)	2三(1)、2三(2)、 2七(1)、2七(2)	81.9	74.4

内容・領域別にみると、通過率の高かったのは、「話すこと・聞くこと」、「言語事項」である。通過率が低かったのは、「書くこと」、「読むこと」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「言語事項」であり、同程度だったのは、「読むこと」である。

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す能力・ 聞く能力	4	1一、1三(2)		86.9	72.5
書く能力	1		5	67.5	60.0
読む能力	8	3二	3一、3三、 4二、4四、 4五	69.8	66.9
言語につい ての知識・ 理解・技能	18	2一(1)、2一(3)、 2一(4)、2二(2)、 2二(3)、2四(1)、 2五(1)	2三(1)、2三(2)、 2七(1)、2七(2)	81.9	74.4

観点別にみると、通過率の高かったのは、「話す能力・聞く能力」、「言語についての知識・理解・技能」である。

通過率が低かったのは、「書く能力」、「読む能力」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「話す能力・聞く能力」、「書く能力」及び「言語についての知識・理解・技能」であり、同程度だったのは、「読む能力」である。

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
① 三(1)	75.9	70.0	「きれいにしたい。きれいにしよう。など」(13.5)、「ごみひろいをしました。など」(3.0)、「気持ちよく使いたい。など」(2.0)、無答(3.0)
② 七(2)	38.0	70.0	オ(32.5)、エ(13.5)、ウ(9)、イ(8)、ア(1.5)、無答(1.5)
③ 一	56.0	70.0	「風が、……たきのようにふりました。」部分のみ記述(22.5)、「空は真っ暗になり、かみなりも鳴りました。」部分のみ記述(2.0)、無答(0.5)
④ 二	66.6	65.0	「空気の汚れや・・・問題になっています」(20)、「エネルギーを使います」(5.5)、他の箇所を指摘(3.5)、「エネルギー」(3)、答(3.5)
④ 四	34.1	65.0	⑩を選択(31.5)、⑧(8)、⑨(4.5)、⑦(3.5)、③(3)、②⑤⑬(各1.5)、④⑥⑭(各1)、無答(4.5)
⑤	67.5	60.0	段落構成ができていない(6)、心に残ったことを書いていない(4.5)、指定された書き方をしていない(4.5)、無答、途中までしか書いていない(18.0)

- ① 三(1)について

誤答の原因として、「きれいにしたい。きれいにしよう。」などの誤答が多いことから、大まかな内容は理解することができたが、最も言いたかったことが、文章のどこに表現されていたかをしっかりとらえることができなかつたと考えられる。

- ② 七(2)について

誤答の原因として、オ(本を)が多かつたことから、「熱心に」が連用修飾語であり、「読んでいる」にかかり、詳しく説明していることを理解していなかつたことが考えられる。

- ③ 一について

誤答の原因として、「ひどいあらし」の様子が書かれている形式段落は2つの文で構成されているが、どちらか一方だけを抜き出しての解答が多いことから、この段落全体が「嵐の様子」について書いていることを理解していないことが考えられる。

- ④ 二について

誤答の原因として、「空気の汚れやうるさい音などが問題になっています」を多く指摘していることから、指示語の働きを理解していないことが考えられる。

- ④ 四について

誤答の原因として、⑩が多かつたことから、各形式段落に書かれている事柄や内容で段落分けせず、「このように」という言葉だけで機械的に段落分けをし、段落相互の関係をとらえることができなかつたと考えられる。

- ⑤ について

誤答の原因として、段落構成ができていないが6%、心に残ったことを書いていないが4.5%、指定された書き方をしていないが4.5%、無答、途中までしか書いていないが18.0%

であることから、段落意識がなかったことや問題の意図を十分読み取ることができなかったこと、そして表現する題材をすぐに決定することができなかったことが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、昨年度と同様、他と比較して通過率の低かった「読むこと」と「書くこと」の充実が挙げられる。

今後の学習指導においては、特に以下の指導が重要である。

- 「読むこと」
- 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。
 - 目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。
- 「書くこと」
- 相手や目的に応じて、適切に書くこと。
 - 自分の考えが明確になるよう、段落相互の関係を考えること。
 - 書こうとすることの中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと。

評価の観点別にみた課題としては、昨年度と同様、「読む能力」と「書く能力」の育成が挙げられる。

個々の問題の誤答傾向からみた課題として、「話すこと・聞くこと」については、目的や意図に応じ、話の中心に気を付け、相手の意図をつかみながら聞く能力の伸長が挙げられる。

今後の学習指導においては、話し手の「話の中心に気を付けて」聞くことが重要であり、聞き手も相手意識や目的意識をもちながら聞くようにしなければならない。その際、自分に伝えたいことは何かという観点で、事柄の順序や要点、中心など、話の組立て方を意識しながら大事なことを聞き取ることができるよう指導することが大切である。

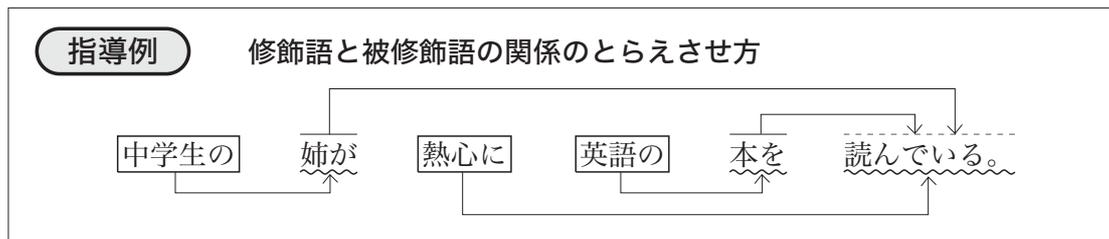
また、「相手の意図をつかみながら」聞くためには、話し手の意図は何か、自分に伝えたいことは何か、共に考えたいことは何かなどという観点で、適切で効果的な組立や言葉遣いなどに注意しながら、話の内容を聞き取ることができるよう指導することが大切となる。

メモの取り方の指導も大切である。「いつ」、「だれが」、「どこで」、「何を」、「なぜ」、「どのように」などの観点をもちながらメモすることや相手の最も言いたいことをメモするなど、日常的に意図的・計画的な指導の機会を設けて指導する必要がある。

言語事項については、「ローマ字の書き」と「主語と述語の関係」及び「修飾語と被修飾語の関係」が低かったことが挙げられる。

今後の学習指導においては、「ローマ字の書き」に関しては、理解できたかどうか実際に書かせたり、他の教科と関連させて指導したりする必要がある。

「主語と述語の関係」では、「何が」、「どうした」を観点に常に意識させて読み取らせることが大切である。また、「修飾語と被修飾語の関係」が、昨年度に引き続き通過率が低かった。修飾語（かぎりのことば）が、どの言葉にかかるのか、どの言葉が受けるのかというかかり方を文図で視覚的にとらえさせる必要がある。



「読むこと」については、文学的文章においては「叙述を基に想像する読み」が課題として挙げられる。

今後の学習指導においては、新しい学習指導要領との関連も考慮し、文学的文章の構造を学ぶための要素として「登場人物」のとらえ方、低学年であれば「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む」指導、中学年であれば「登場人物の行動や性格に基づき、場面の展開に即して変化する気持ちを中心にとらえる」指導、高学年であれば「登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえ、そのことで内面にある深い心情も併わせてとらえる」指導を意識していく必要がある。

説明的文章の読解に必要な「問いかけの文」(疑問を表す一文)を探す設問の通過率は、昨年度の54.9%から78.9%と大きく上がった。しかし、「指示語」の使い方を考え、文と文のつながりに注意して読む設問は、66.6%で、昨年度の69.4%より若干下がった。また、段落分けの設問では、「このように」という言葉を受け⑩と答えた児童が31.5%にも上った。

今後の学習指導として、「指示語」については、「修飾語と被修飾語の関係」と同様に、矢印でどこにかかるのか視覚的にとらえさせる必要がある。段落分けの設問では、接続語や指示語、文末表現等を理解させることや各形式段落ごとに内容の要点をつかませる指導が大切である。また、段落相互の関係を考えさせるためには、文章全体の構成を大きくとらえさせる指導が必要である。「話題提示・問題提示の部分」や「事例を挙げて説明している部分」及び「問題提示に対する答えや全体をまとめている部分」として、文章を大きく三つの部分に分けてとらえさせたい。

「書くこと」については、昨年同様、「相手や目的に応じて、主題意識をより明確にもつこと」や「目的に応じて、説明と意見を区別して、段落意識をもって適切に書くこと」の能力の充実が挙げられる。

今後の学習指導においては、相手意識や目的意識をより明確にもち、どのような事柄を書くのかということについて自分の考えをもって文章を書くよう、日常的に興味や関心をもっていること、経験したり人から聞いたりしたこと、本を読んで知ったことなどから題材を選んで書くなどの活動を行う必要がある。

また、ひとまとまりの内容を構成する段落の役割を理解するとともに、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を構成することも必要である。段落を構成して書く能力の基盤を育成するために、「内容のまとまりにもとづいて形式段落を構成できるようにする。」「文章様式に即した構成意識を育成する。」「構成メモの指導を行い、段落相互の関係を明確にする。」などの指導が大切である。

設定通過率との比較からみた課題としては、「言語事項」と「読むこと」の充実が挙げられる。

言語事項では、ローマ字の読みが、昨年度は設定通過率より下回っていたので、今年度はロ

ローマ字の読みと書きを出題した。ローマ字の書きの通過率が55.9%であった。

文学的文章の指導では、場面の様子を書き出す問題が56.0%と設定通過率の70%を下回った。説明的文章の設問では、疑問文を見付ける問題や段落相互の関係を問う問題を昨年に引き続き出題した。疑問文を見付ける問題は、78.9%と改善されたが、段落分けの設問は、34.1%であった。

今後の学習指導として、ローマ字に関しては、パソコンでのローマ字入力を指導するなど、他の教科・領域との関連を図り、理解と技能を伸ばしていくことが大切である。

「読むこと」に関しては、文章の細かな内容の読み取りや心情中心の読み取りに終始せず、場面の様子やその変化をとらえさせたり、段落相互の関係や文章の構成を大きくとらえさせたりする指導が大切である。

質問紙調査の結果によると、「国語の勉強は大切だ（どちらかといえば大切だ）」と回答した児童は88.4%、また、「国語の授業がよく分かる（だいたい分かる）」と回答した児童は71.6%である。ところが、「国語の勉強が好きだ（どちらかといえば好きだ）」と回答した児童は60.0%と低い。つまり、「国語の勉強は大切だし、授業も分かるけれど、好きではない」という児童の実態が見えてくる。このことから、「楽しく、分かる国語の授業」を実践することが必要である。

キ まとめ

国語全体としては、通過率がかなり向上した。各学校において基礎的・基本的内容を身に付けさせるため、指導方法や指導体制を工夫しながら授業の充実に取り組んだ成果であると考えられる。

領域別では、「話すこと・聞くこと」、言語事項の領域はおおむね良好である。一方、「書くこと」、「読むこと」の領域では、相手や目的に応じて書こうとすることの中心を明確にし、適切に書くこと、目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えたり、内容を大きくまとめながら文章を読んだりすることの定着に不十分な点が認められる。

今後は、「書く能力」の向上を図るためには、条件や課題に合わせた文章を書く学習も行う必要がある。長時間をかけて文章を書くだけでなく、限られた時間内でもひとまとまりの文章を書くことができるような指導や、文字数や相手など与えられた条件に即応して書けるような指導も行うべきである。

「読む能力」の向上を図るためには、筆者の最も言いたいことは何か、文章の構成はどのようになっているのか、など指導すべき内容は数多くある。しかし、その前に、文章を読むことの楽しさを感じる大切である。読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりするため、読書活動として、学校図書館の利用を取り入れるなどして推進していくことが望ましい。